



De Parte del
Pueblo Japonés

令和 4 年度

草の根・人間の安全保障無償資金協力

エル・ロサリオ市中古消防車整備計画



(左から ブランカ・ヒメネス市会議長、エベル・ロペス市長、中村大使、カンディダ・ペレス副市長)

2024 年 6 月 18 日、カラソ県エル・ロサリオ市において、「エル・ロサリオ市中古消防車整備計画」により整備された、日本の中古消防車の供与式が執り行われました。

群馬県甘楽町とニカラグアのエル・ロサリオ市は、東京五輪・パラリンピックでニカラグアのホストタウンとなったことをきっかけに、台風で帰国できなくなったニカラグアの野球チームに宿泊先を提供する等、交流を深めてきています。この度、草の根・人間の安全保障無償資金協力による総額 61,778 米ドルの支援を通じて甘楽町がエル・ロサリオ市に中古消防車を贈る運びとなり、中村和人大使が正式に消防車を引渡しました。

リサイクル草の根無償というこのプロジェクトは、甘楽町の中古消防車をエル・ロサリオ市の住民に再利用してもらうため、整備や輸送にかかる費用を大使館が支援するもので、エル・ロサリオ市の消防署に消防車を供与することで、エル・ロサリオ市および近隣のラ・パス、サンタ・テレサ、ラ・コンキスタ市(住民 3 万 6 千人)からの出動要請に対応できるようになります。

供与式には、甘楽町町長と役所関係者、サンディ・アナベル・ダビラ駐日ニカラグア大使と駐日ニカラグア大使館の職員、日本外交協会の職員も日本から Zoom で参加しました。



支援された消防車



テープカット



車両の鍵の引渡し



茂原荘一 甘楽町町長(Zoom で参加)



感謝の意を述べるエベル・ロペス市長